OKINAWA ARTS COUNCIL

令和4年度
沖縄文化芸術の創造発信支援事業
支援事業事例集

2022»2023

OKINAWA ARTS COUNCIL

2022 » 2023

OKINAWA ARTS COUNCIL

2022»2023

令和４年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業
支援事業事例集

目次

p03　ごあいさつ

p04　沖縄アーツカウンシルとは

p06　令和4年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業
公募について

p08　令和4年度採択事業者の活動拠点

p09　支援事業のご紹介（団体）

p19　支援事業のご紹介（スタートアップ）

p24　支援事業のご紹介（個人事業主）

p34　沖縄文化芸術の創造発信支援事業
令和4(2022)年度の取り組み

ごあいさつ

公益財団法人 沖縄県文化振興会
理事長 稲福　弘

令和４年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業による支援事業事例集「OKINAWA ARTS COUNCIL」の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当該事業は令和４年度から沖縄県文化振興会が県の委託を受け、実施している事業です。前身にあたる「沖縄文化活性化・創造発信支援事業」及び「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業」をそれぞれ5年間実施してまいりましたから、11年目の取り組みということになります。その間のべ334件もの魅力的な事業について報告してまいりました。この冊子を手に取られた皆様のご参考の一助になればと願っております。

今年度から始まった新事業の特徴としまして、従来の団体・個人事業主に加えて、スタートアップ(団体)枠を新設しました。これは、設立間もない団体の皆様も活用いただきやすい枠となっていますので、お気軽にご相談いただければと考えております。

今年も多彩な応募が多く寄せられ、アドバイザリーボード委員によるご議論を踏まえ、22件の事業を採択いたしました。プログラムオフィサーを配置の上アーツカウンシル機能を活用し、事業者の皆様に寄り添うハンズオン支援や評価・相談に取り組んで参りました。

令和５年１月には昨年度まで支援しておりました「NPO法人地域サポートわかさ」の取り組みが国際交流基金地球市民賞を受賞しましたことも特記すべきことと喜んでおります。

今後とも文化・芸術活動が盛んな沖縄を支えるべく、本事業を継続発展させたいと考えております。

結びになりますが、関係者をはじめご協力いただきました皆様に心からの敬意と感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

沖縄アーツカウンシルとは？

沖縄は、古来、アジア諸国との交易を通じて多様な文化芸術を受け入れ、沖縄の精神的、文化的風土と融合させることで、亜熱帯の海に囲まれた美しい島々に、独特の文化芸術を育んできた。文化芸術は、県民の生活に深く根ざし、繰り返された世変わりにおいても、新たな時代を切り開く心のよりどころとなった。 文化芸術は、長い歴史の過程で積み上げられ、伝えられた英知の結晶であり、人々が心豊かに生き、活力のある社会を築き、世界と友好を深めていく基盤として、本県の発展に欠かせないものである。このような認識に立ち、私たちは、かつて琉球の時代に人と文化の架け橋となった先人の万国津梁（しんりょう）の精神を受け継ぎながら、守り育ててきた文化芸術を次代に引き継ぐとともに、これからの時代にふさわしい新たな文化芸術を創造していくことを決意し、この条例を制定する。

（沖縄県文化芸術振興条例 前文より）

こうした認識に立ち、沖縄県は、本県の多様で豊かな文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的に、沖縄版アーツカウンシル機能を導入した「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」に取り組んでいます。公益財団法人沖縄県文化振興会は、沖縄県からの委託を受け、県内の文化芸術団体に本事業を通じてさまざまな支援を行っています。

関連する条例・施策

沖縄県文化芸術振興条例

沖縄県
文化観光スポーツ部
文化振興課 施策概要

沿 革

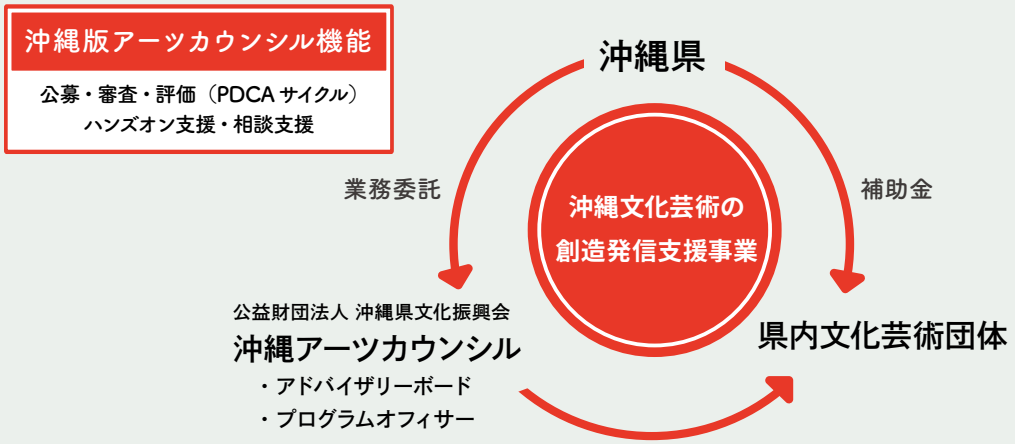
平成５(1993)年度
財団法人沖縄県文化振興会設立

平成23(2011)年度
公益財団法人沖縄県文化振興会へ名称変更。
沖縄県の組織改革により文化観光スポーツ部が創設される。

平成24(2012)年度～平成29年(2016)年度
文化振興の主要事業として、一括交付金を活用した「沖縄文化活性化・創造発信支援事業」を実施。

平成29(2017)年度～令和３(2021)年度
「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業」を実施。

令和４(2022)年度～
「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」を開始。
令和８(2026)年度までの継続を予定している。



メンバー紹介

AB アドバイザリーボード

アドバイザリーボード(AB)は、沖縄県内外の文化芸術分野における専門家等で構成され、事業の選定及び評価・検証、アーツカウンシル機能全般への助言を担います。

林 立騎 Tatsuki Hayashi　那覇文化芸術劇場なはーと企画グループ長

仲田 美加子 Mikako Nakada　沖縄県文化協会会長

宮城 潤 Jun Miyagi　NPO法人地域サポートわかさ理事

若林 朋子 Tomoko Wakabayashi
プロジェクト･コーディネーター / 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授

PO プログラムオフィサー

プログラムオフィサー(PO)は、採択事業へのハンズオン支援をはじめ、文化芸術に関する相談対応、県内の文化芸術の活動状況を踏まえた助成制度の構築を行います。

チーフプログラムオフィサー

上地 里佳 Rika Uechi

宮古島市出身。大学院でアートプロジェクトの現場に携わったことを機に、東京都三宅島や富山県氷見市にて事務局スタッフに従事。2016年からアーツカウンシル東京での中間支援業務を経て、2021年より現職。

真栄城 桃子 Momoko Maeshiro

読谷村出身。大学時代にミュージカルに出会い、何らかの形で文化と芸術を仕事にしたいと思い活動。2019年3月までの4年間は西原町教育委員会で、さわふじ未来ホールの自主事業の企画運営等に携わる。

八巻 真哉 Shinya Yamaki

愛知県出身。前職では京都府文化スポーツ部文化スポーツ芸術課に所属し、地域文化振興担当として、京都府域展開アートプロジェクト事業や京都府地域文化創造促進事業等のプログラムディレクターを務める。京都府地域文化創造促進事業では、文化活動を支援する専門人材(地域アートマネージャー)を京都府の広域振興局に配置し、それぞれの地域で文化活動を支援する体制を作っていった。

具志 幸大 Yukihiro Gushi

那覇市出身。幼少の頃より琉球舞踊、琉球古典音楽を学ぶ。2001～2002年世田谷パブッリックシアター & 佐敷町シュガーホール共同製作「音楽劇ふたごの星(原作/宮沢賢治　演出/佐藤信　作曲/中村透　美術/有賀二郎)」出演。2006年舞踊リサイタル開催(国立劇場小劇場・国立劇場おきなわ大劇場)。2008年古典音楽と創作曲による演奏会開催。2021年舞踊リサイタル開催(国立劇場おきなわ大劇場)。これまで12年間にわたり県内の高校生に琉球芸能を指導。

小川 恵祐 Keisuke Ogawa

山形県出身。沖縄県立芸術大学大学院修了。専門は民族音楽学。2017～2022年南城市文化センターシュガーホールにて音楽公演の企画制作や教育事業を担当。並行して琉球芸能や現代音楽、伝統舞踊、現代演劇のプロジェクトに取り組み2022年より現職。

橋口 知佳子 Chikako Hashiguchi

栃木県出身。大学院にて文化施設での文化芸術活動に関する研究を行った経験から、全国の劇場・ホール施設の計画・設計のコンサルティングを行う会社に就職。3年間従事した後沖縄に移住し、2022年より現職。

担当文化専門員

池畑 陽介 Yousuke Ikehata

兵庫県出身。東京で和太鼓の会社に従事。和太鼓コーディネーターとして演奏者のマネジメント、旅行者向け体験プログラムや企業向けチームビルディングイベントの企画運営等に携わる。沖縄に移住後は、旅行雑誌の広告営業を経て、2018年より沖縄県文化振興会で沖縄県芸術文化祭、文化活動支援助成事業を担当し、現在に至る。

令和4年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業 公募について

「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」では、
文化芸術に関する事業を行う県内の団体や個人事業主を対象に、
３つの区分で公募を実施し、採択された事業を支援しています。

●補助対象 / 補助上限額

団体	条件	県内に主たる事業所を有し、文化芸術事業を行う団体
	補助金額	上限 500 万円
	補助率	1年目＝90%　2年目＝80%　3年目＝70%

スタートアップ	条件	県内に主たる事業所を有し、文化芸術事業を行う団体 ※「団体設立から5年未満」または「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業の採択実績がない」団体
	補助金額	上限 100 万円
	補助率	1年目＝90%　2年目＝80%　3年目＝70%

個人事業主	条件	県内に主たる事業所を有し、文化芸術事業を行う個人事業主
	補助金額	上限 100 万円
	補助率	90%　※個人事業主の補助回数は1回限り

■事業区分

区分1 文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み

・文化芸術活動の継続や強化に向けて、事務局体制の向上や基盤強化を図る取り組み
・文化芸術活動を支える担い手等の育成・継承に関する取り組み
・個人事業主による文化芸術活動の継続や強化に向けた自己研鑽に係る取り組み
・オンライン配信や映像制作のスキルアップのための取り組み　など

区分2 文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

・認知度の向上やリピーター獲得に向けた体系的な計画を有する取り組み
・創作人材の育成に係る魅力ある創造発信を伴う取り組み
・アーティストの交流等を促進する取り組み
・一過性のイベントではなく、新規性の見られるライブや上映会、公演、展覧会　など

区分3 文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取り組み

・県内の民間事業所（観光、まちづくり、産業等関連分野）や教育機関（各種学校、図書館、博物館、公民館等）と連携して行う取り組み
・共生社会実現に向けて関係機関（福祉、国際交流等関連分野）と連携して行う取り組み　など

■令和4年度公募期間

第1回公募

団体 / スタートアップ

相談期間	令和4年4月25日(月)～5月20日(金)
受付期間	令和4年5月23日(月)～5月27日(金)
応募数	27件

個人事業主

相談期間	〈前半〉令和4年4月25日(月)～5月20日(金) 〈後半〉令和4年6月6日(月)～6月17日(金)
受付期間	令和4年6月27日(月)～7月1日(金)
応募数	17件

第2回公募

スタートアップ / 個人事業主

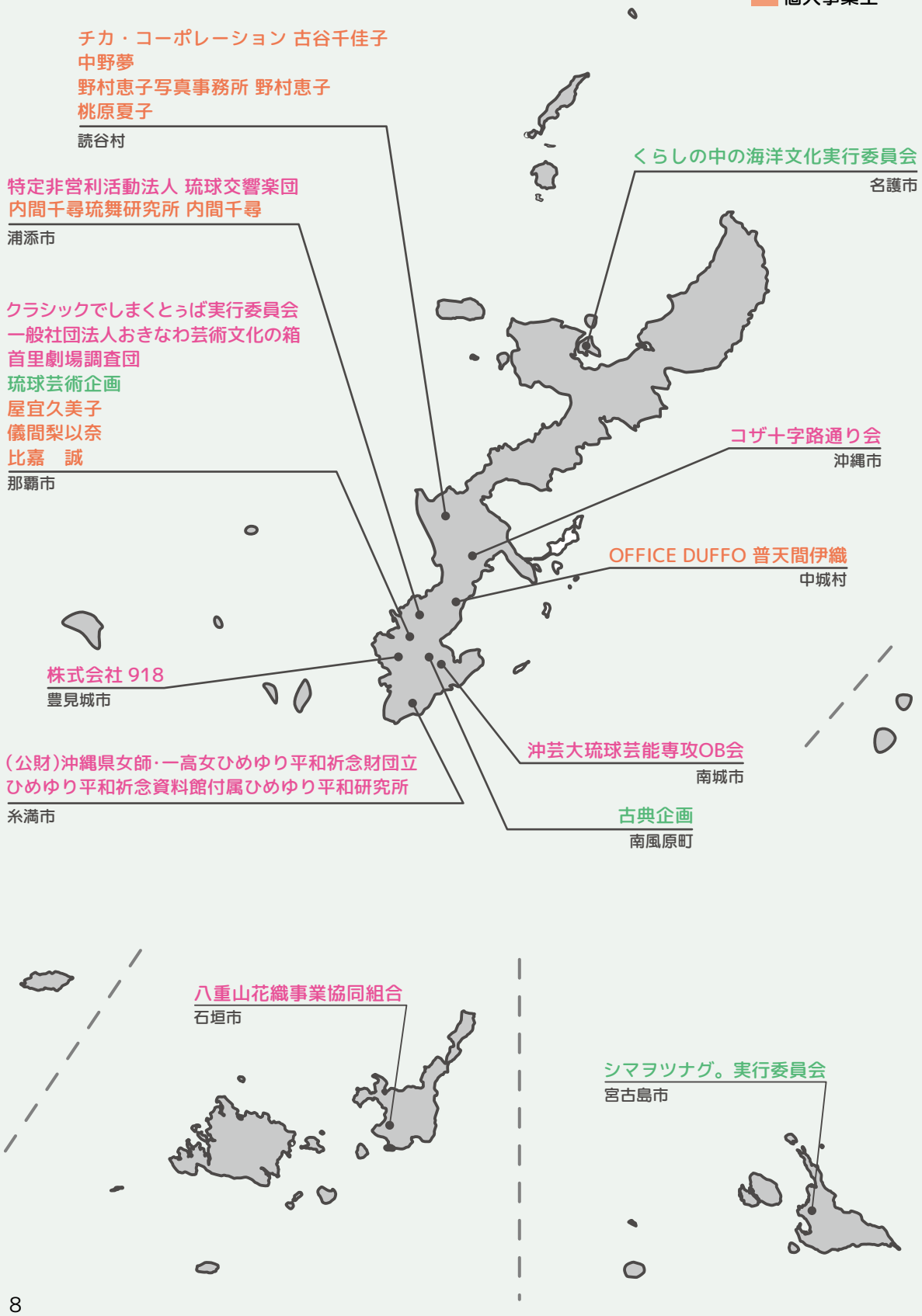
相談期間	令和4年8月5日(金)～8月22日(月)
受付期間	令和4年8月23日(火)～8月26日(金)
応募数	8件

■令和4年度スケジュール

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>団体</th><th>スタートアップ</th><th>個人事業主</th></tr>
<tr><td rowspan="12">令和4年</td><td>4月</td><td colspan="3">令和4年度第1回公募情報公開・公募説明会・個別相談会</td></tr>
<tr><td>5月</td><td colspan="2">応募締切</td><td></td></tr>
<tr><td>6月</td><td colspan="2">審査会・事業採択</td><td>応募締切</td></tr>
<tr><td>7月</td><td colspan="2">交付決定・事業開始</td><td>審査会・事業採択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8月</td><td></td><td></td><td>交付決定・事業開始</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">第2回公募情報公開･公募説明会･個別相談</td></tr>
<tr><td>9月</td><td></td><td colspan="2">審査会</td></tr>
<tr><td>10月</td><td></td><td colspan="2">交付決定・事業開始</td></tr>
<tr><td>11月</td><td colspan="2" rowspan="2">中間調査（遂行状況等の確認）</td><td></td></tr>
<tr><td>12月</td><td>事業完了 ※第1回公募</td></tr>
<tr><td rowspan="3">令和5年</td><td>1月</td><td></td><td></td><td>報告書提出 ※第1回公募</td></tr>
<tr><td>2月</td><td colspan="2">事業完了・報告書提出</td><td>事業完了・報告書提出
※第2回公募</td></tr>
<tr><td>3月</td><td colspan="3">補助金交付</td></tr>
</table>

令和4年度採択事業者の活動拠点

団体
スタートアップ
個人事業主



OKINAWA ARTS COUNCIL

令和4年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業

支援事業のご紹介
【団体】

01 / 八重山花織事業協同組合

02 / 沖芸大琉球芸能専攻OB会

03 / クラシックでしまくとぅば実行委員会

04 / 一般社団法人おきなわ芸術文化の箱

05 / 首里劇場調査団

06 / コザ十字路通り会

07 / 株式会社 918

08 / 公益財団法人
沖縄県女師･一高女ひめゆり平和祈念財団立
ひめゆり平和祈念資料館付属ひめゆり平和研究所

09 / 特定非営利活動法人琉球交響楽団

2022»2023

CASE 01

石垣市に眠るティサジ復元 高度技術継承、伝統伝承PR事業

八重山花織事業協同組合（石垣市）　https://www.instagram.com/hanaori.yaeyama/

●事業概要

継承の危機にある石垣島の伝統工芸ティサジ織の後継者育成と高度技術教育の仕組みづくりをめざす。織物研究者との協働や石垣島外の工芸実践の視察を通して、伝承の過程を丁寧に記録していくとともに、ティサジ織復元品を制作、展示し県内外に広くその魅力を発信した。

●取組概要

①SNS(Instagram)による情報発信

②ティサジ織見学・取材

〈与那国島〉与那国町伝統工芸館
てぃぬ花工房
〈沖　縄〉知花花織事業協同組合
沖縄市文化センター
世界遺産座喜味城址ユンタンザミュージアム
読谷山花織事業協同組合
首里染織館suika
南風原文化センター
琉球絣会館
〈竹富島〉貴宝院蒐集館

③八重山諸島の織物に関する歴史文化の講座及び織指導(全3回)

④ティサジ織作業

日程:10～2月

⑤復元したティサジの展示

日程:2/24(金)～ ※常設展として継続
会場:みね屋工房(八重山花織事業協同組合内)

担当POコメント

八重山では人頭税時代、約4万反もの織物が琉球王府に毎年貢納されていましたが、なぜかティサジ(手巾)織は現存しません。普段は長時間孤独に制作する「織子さん」ですが、復元というテーマで協働し、研究者や学芸員、県内中の職人さんと様々な交流を育みました。後継者不足の課題に真摯に向き合うため、まずは自らの足元の歴史文化を掘り起こし、伝統そのものの価値を更新しようとした高嶺代表と、それを柔軟に支えた事務局・宮地さんらの挑戦に強く励まされました。(小川)

左 / ティサジ織作業のようす
右 / ティサジ織の見学・取材

CASE 02

持続可能な沖芸大琉球芸能専攻OB会の未来を創る基盤整備事業

沖芸大琉球芸能専攻OB会（南城市）　https://www.facebook.com/okigeidaiob

●事業概要

伝統芸能実演家の「マネジメント」に対する意識啓発及びスキルアップを促進し、来年スタートの「インボイス制度」をはじめとする、これからのマネジメントの重要性を共有した。また専門家のアドバイスを受けながら組織の基盤を強化し、持続可能な文化活動の未来を考える取り組みにつなげる。

●取組概要

①役員向け経営アドバイス

講師：栗原邦夫(株式会社クリアー)
日程：8～1月(全6回)
テーマ：「税務について、役員の役割」
「経営者として進む道」
「契約書・会則など」
「団体法人化へ向けた準備１」
「団体法人化へ向けた準備２」
「課題解決に向けて」

②会員向けマネジメント講座

講師：栗原邦夫(株式会社クリアー)
日程：8～2 月(全7回)
テーマ：「税務について
（確定申告、インボイス制度など)」
「ビジネスの基礎」
「お客様が欲しいもの」
「どう提供する？」
「お客様が進みやすい道」
「お客様が買いやすい文章の伝え方」
「事例発表会、大質問会」

③ 組織強化のための意識調査

担当POコメント

琉球芸能実演家である会員がマネジメントスキルを、役員たちは経営者としてのスキルを身につけることで、組織基盤の強化を図ることを試みた本事業。芸能家特有の事情に詳しいユニークな税理士を講師として招き、定期的に講座を行いました。そこには芸能家として生き抜くべく、熱心に受講する実演家の姿がありました。所属も流派も多岐にわたるOB会だからこそ、本事業で得た学びが沖縄芸能界全体に広がり、さらなる活動へつながっていくことを期待しています。(具志)

左 / 役員向け経営アドバイス
右 / 会員向けマネジメント講座

CASE 03

「クラシックでしまくとぅば」連続ワークショップ事業

クラシックでしまくとぅば実行委員会（那覇市）
https://www.facebook.com/profile.php?id=100084214595934

●事業概要

「沖縄独自のクラシック音楽の語り口があるのではないか」という問いを起点に、沖縄のクラシック音楽家らとともに、琉球芸能やウィーン流派の「訛り（ことばの響きやイントネーション）」に着目した連続ワークショップを開催。沖縄ならではのクラシック音楽の表現を探求し、地域独自の音楽活動の展開をめざす。

●取組概要

①ワークショップの開催（全5回）

ワークショップディレクター
三ッ石潤司（作曲家・東京藝術大学准教授）
日程：7～1月（全5回）
会場：浦添市ハーモニーセンター
那覇文化芸術劇場なはーと 小スタジオ
もとぶ文化交流センター

■ワークショップ#1「方言・訛りと歌の関係」
講師：ライナー・トロースト（オペラ歌手）
安井陽子（オペラ歌手）
入嵩西諭（琉球芸能笛奏者）

■ワークショップ#2
「琉球王国／ハプスブルク帝国のなかの地域性」
講師：仲村逸夫（歌三線奏者・沖縄県立芸大講師）
花城英樹（歌三線奏者）
工藤すみれ（ニューヨーク・フィルハーモニックチェロ奏者）

■ワークショップ#3「宮廷文化と芸能・芸術」
講師：宮城茂雄
（琉球舞踊家・組踊立方・沖縄国際大学非常勤講師）

■ワークショップ#4「器楽作品の構成要素」
講師：大湾清之（琉球笛奏者・楽器製作者）
平塚太一（指揮者）

■ワークショップ#5「伝統を受継ぐとは」
講師：嘉数道彦（琉球舞踊家・組踊立方・県立芸大准教授）
榎本麻衣子他 ウィーン交響楽団楽団員3名

②YouTubeでのアーカイブ動画公開

担当POコメント

本事業の中核を担い、フルート奏者としても活躍する渡久地圭さん。沖縄で連綿と継承されてきた伝統文化や芸術を尊重し、とことん向き合い、学ぼうとする姿勢に毎回胸を打たれます。沖縄芸能実演家とクラシック音楽奏者や歌手が対話し、自らの根幹にある文化背景について問い、異なる音楽領域とのセッションを積み重ねていくなかで、「沖縄ならではのクラシック音楽」の糸口をつかみかけている人もいるようです。新たな領域をひらくのは、汲めども尽きぬ探求心と人の想いであることを実感させられる事業です。（上地）

左 / ワークショップ #5「伝統を受継ぐとは」
右 / ワークショップ #3「宮廷文化と芸能・芸術」

CASE 04

沖縄の子ども達に演劇体験を届ける「おきなわ子ども演劇プロジェクト」の普及

一般社団法人おきなわ芸術文化の箱（那覇市）　https://okigekids.com/

●事業概要

文化芸術に触れる機会が少ない離島や北部地域を含む教育現場で、子ども向け演劇プログラムの出張公演を継続的に実施するとともに、県内公共劇場等で一般の人々も参加できる「演劇マルシェ」を開催。県内演劇団体が教育や社会に主体的に関わっていく足がかりをつくり、より多くの子どもたちの演劇体験を創出する。

●取組概要

①おきなわ子ども演劇プロジェクト参加作品のモニター公演の実施（9〜1月）

■参加団体・プログラム名
「OH!GYAA!!」
作･演出/島袋寛之（TEAM SPOT JUMBLE）
「ぼくはみんながだいすき」
作･演出/新垣七奈（演劇ユニット多々ら）
「みんわげき〜沖縄の民話〜」
作･演出/渡久地雅斗（演撃戦隊ジャスプレッソ）
「ぼくらのおうち」
作/ビーグル大塚　演出/当山彰一（劇艶おとな団）

会場：県内9市町村の保育園､幼稚園､小学校等13施設
石垣市＝なごみの広場、にしのもり保育園、
　　クローバーキッズ保育園
うるま市＝城の森学童・保育園
宮古島市＝いけむら保育園、花園保育所、ひばり保育園
名護市＝名護市稲田小学校
今帰仁村＝今帰仁こどもみらい園
国頭村＝くにがみこども園
　　（会場：やんばる森のおもちゃ美術館）
八重瀬町＝こちんだこども園
宜野湾市＝慈愛幼稚園
読谷村＝古堅南幼稚園

②おきなわ子ども演劇マルシェの開催（全2回）

日程：9/23（土）
会場：宜野座村文化センターがらまんホール

日程：2/18（土）
会場：那覇文化芸術劇場なはーと 小スタジオ･展示室

担当POコメント

コロナ禍で多くの行事が中止になったという学校や保育園でのアウトリーチでは、子どもたちの喜びが爆発し、ときには涙を流す先生もいました。様々な境遇の子どもたちや現場の最前線に立つ教育の専門家たちと、舞台を介して生々しく関わることで、作品自体もまた、ある個人のものから「沖縄の作品」として育まれていったのではないかと感じました。県内演劇人の熱い思いのさらなる連帯と、持続可能の模索は続きます。（小川）

左 /「ぼくはみんながだいすき」（演劇ユニット多々ら）に参加する子どもたち　右 /「みんわげき〜沖縄の民話〜」（演撃戦隊ジャスプレッソ）

CASE 05

危機的状況にある沖縄最古の劇場を多角的に調査･記録し、次代に引き継ぐ創造発信事業

首里劇場調査団（那覇市）　https://shurigekifans.fakefur.jp/

●事業概要

終戦直後の焼け野原において、沖縄の芝居や踊り、映画上映を通して人々を力強く勇気づけてきた「首里劇場」。館長の急逝で事業継続は厳しくなっている。そこで劇場の調査･記録を行い、（戦後沖縄の芸能における「首里劇場」の）歴史的な価値をアーカイブ化し次代に引き継ぐ活用方法を提案した。

●取組概要

①建築調査

（図面採取および聞き取り、関係文献調査の実施）

・首里劇場の現状を専門的な分野から正確に把握するとともに、復元に向けた基礎資料を作成。
・測量を元に、詳細な図面を作成。3Dモデルや記録写真は全てクリエイティブコモンズのCC-BYを付加して公開。
メンバー：普久原朝充、玉城盛太（建築士）

②興行文化の調査記録

・沖縄県立図書館、国立国会図書館にて首里劇場に関する記事や広告を調査。その演目と内容を年表として作成。
メンバー:鈴木耕太（沖縄県立芸術大学 准教授）、
世良利和
（沖縄県立大学芸術大学 文化研究所共同研究員）

③発信･提言事業

・WEBサイトを構築し、各専門分野における調査内容を掲載
・地域住民や関係者を対象とした「首里劇場ツアー」（内覧会）の開催
日程:7/15（金）～10/31（月）計10 回以上開催
・「首里劇場シンポジウム ー戦後大衆文化遺産を未来に残すためにー」の開催
日程:2/10（金）
会場:沖縄県立博物館･美術館 博物館講座室

担当POコメント

後継者問題や建物の老朽化で再開のめどが立たない首里劇場を、芸能興行や建築といったさまざまな視点から調査を続け記録（アーカイブ）し発表・公開を試みました。アーカイブの重要性は本取り組みに限ったことでなく、その活用法も問われます。歴史や文化的価値など知ってもらいこれからの記録保全を考えるきっかけをつくった本取り組みは、地域や自治体を巻き込んで、何を伝え何を残し、またそのために何が出来るのか、調査団の活動はまだまだ続きます。（八巻）

左 /「首里劇場シンポジウムー戦後大衆文化遺産を未来に残すためにー」のようす　右 / 建築調査の取材風景

CASE 06

わったー街での映画製作を通じて、通りの賑わいと地域の絆を取り戻す!

コザ十字路通り会（沖縄市） https://www.facebook.com/profile.php?id=100064899121918

●事業概要

沖縄市照屋地区「コザ銀天街」を舞台に、地域の歴史や音楽に深く関わる映画作品を制作し、上映会を開催。制作過程において、県内若手俳優やプロの撮影スタッフだけでなく、地域住民も役者やスタッフとなって協働することで、新たなコミュニティ構築につなげることをめざす。

●取組概要

①映画製作告知と住民向け説明会

日程:10/18(火)
会場:照屋自治会公民館

②コザ銀天街周辺での映画撮影・編集

日程:11～12月

③映画上映会の開催

映画『コザママ♪うたって！コザのママさん‼』上映会
日程:1/14(土)、21(土)、28(土)
監督:中川陽介
出演:上門みき、畠山尚子、jimama、新垣美竹、ほか
会場:青春劇場(沖縄市コザ銀天街)

・映画上映会の来場者へのアンケートの実施

担当POコメント

R&B 音楽があふれていたというコザ銀天街の歴史背景や、近所の子どもたちのたまり場として親しまれるカフェでの出来事など、実際のエピソードがちりばめられた一本の映画が完成。地元ダンススクールの子どもたちによるパフォーマンスや中高生ラッパーの人情あふれるシーンは、顔の見える関係があったからこそできた「わったー街の映画作品」です。表現することが生きる力となっていることを感じさせてくれた本作品が、より多くの人へ届いていくことを願います。(上地)

左 / コザ銀天街周辺での映画撮影のようす
右 / 映画『コザママ♪うたって！コザのママさん‼』上映会

CASE 07

沖縄を舞台にした映画作品に音声ガイド･日本語字幕を付け、キャラバン映画祭を通して沖縄発映画の新たな鑑賞方法を創出する事業

株式会社 918（豊見城市）　https://eiganomikata.okinawa/

●事業概要

沖縄で製作された映画に音声ガイド・日本語字幕を付けることで、視覚や聴覚の不自由な方、家族や友人など、誰もが一緒に映画を楽しめる上映環境の創出を試みる。外部講師によるワークショップや県内でのキャラバン上映を通して、バリアフリー上映の運営及び制作における技術向上も図った。

●取組概要

①音声ガイドワークショップの開催

講師：平塚千穂子
（バリアフリー映画鑑賞推進団体
シティライツシネマ･チュプキ･タバタ代表）
日程:9/8(木)
会場:那覇市ともかぜ振興会館

②音声ガイドナレーション収録、字幕テロップ作成テスト試写の実施

③音声ガイド・日本語字幕付き沖縄映画上映会「映画のミカタ2022」の実施

■沖縄市
日程:10/29(土)
会場:沖縄市社会福祉センター
上映作品:『紫 MURASAKI ～伝説のロック･スピリッツ～』

■豊見城市
日程:11/15(火)
会場:豊見城市社会福祉センター
上映作品:『夢の残像』

■石垣市
日程:12/11(日)
会場:石垣市民会館 中ホール
上映作品:『ミラクルシティコザ』

担当POコメント

「多様な人や声に出会いに行こう！」と、沖縄県内３箇所（沖縄市、豊見城市、石垣市）でのキャラバン上映会を実施。話題の映画作品を鑑賞できた喜びを手話で伝える方、音声ガイドによる情景描写で笑えたという方、身体性や感覚が異なる立場同士がともに楽しみを分かち合える場がそこにありました。上映会の開催だけでなく、東京を拠点にユニバーサルシアターを運営する平塚千穂子さんを招いたワークショップに取り組むなど、活動拡充に向けた足腰づくりもはじまっています。（上地）

左 / 映画のミカタ 2022」in 豊見城市 上映後の手話での意見交換　右 / 音声ガイドナレーション収録のようす

CASE 08

“ひめゆり”を伝える ワークショップ開発･実践プロジェクト

公益財団法人沖縄県女師･一高女ひめゆり平和祈念財団立
ひめゆり平和祈念資料館付属ひめゆり平和研究所（糸満市）
https://www.facebook.com/HIMEYURI.PEACE.RESEARCH.CENTER

●事業概要

沖縄戦とひめゆり学徒の歴史を広く伝えるため、映像やデザインのクリエーターや類似施設と協働し、展示と学び手をつなげるワークショップを開発。移動展「ひめゆりとハワイ」を開催するとともに、資料館からは遠い地域の学生たちを対象にワークショップを実践し、新しい形の発信型教育プログラムの構築をめざす。

●取組概要

①映像ワークショップの開発と実施

講師:山城竹識　日程:10～12月

■作品上映会＆トークイベント
日程:12/17(土)
会場:ひめゆり平和祈念資料館 多目的ホール
トークゲスト:宮平貴子
上映作品:Aチーム「what is peace？」
Bチーム「つなぐ」

②巡回展開催とワークショップの実施

■移動展「ひめゆりと今帰仁」
日程:10/21(金)～11/20(日)
会場:今帰仁村歴史文化センター

・ひめゆりワークショップづくり
日程:11/19(土)
講師:玉城直美(沖縄NGOセンター)

■移動展「ひめゆりとハワイ in 読谷」
日程:11/26(土)～1/9(月)
会場:世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム
・"ひめゆり"を学ぶワークショップ
日程:1/7(土)

③報告書の作成

担当POコメント

「戦争」をテーマにした芸術作品は数多く存在しますが、戦争を主題とするミュージアムが主体となってアーティストと協働する活動や、学芸員自らがファシリテーターとなるワークショップを開発する試みは、これまでどれだけあったでしょうか。研究所の狩俣さんはじめ多くの参加関係者の挑戦は、「表象不可能」と言われる「沖縄戦」という地域の歴史文化を伝えることの困難さや葛藤を共有することの大切さを教えてくれます。(小川)

左 / ひめゆりワークショップづくり in 今帰仁村
右 / 映像ワークショップでの撮影風景

CASE 09

あけみおの街フェスティバル

特定非営利活動法人琉球交響楽団（浦添市）
https://www.ryukyusymphony.org/

●事業概要

幅広い世代がクラシック音楽を身近な場所で楽しめるよう公民館やまちなかでのコンサートを開催。そして、プロの奏者から指導を受ける機会の少ない児童生徒に吹奏楽講習会を行い、集大成として「あけみおの街フェスティバル」を開催。児童生徒と琉響が共演し、「音楽の力で人、街を元気に！」をめざす事業を展開した。

●取組概要

①公民館コンサートの開催
日程：12～2月（全20回）
会場：名護市内の公民館 18か所

②あけみおのまちなかコンサートの開催
日程：1/27（金）～2/28（火）（全15回）
会場：道の駅許田
（道路情報ターミナル2F／レストラン前テラス）
津嘉山酒造所、名護市営市場、
21世紀の森屋内運動場、はい菜!やんばる市場 他

③あけみおの街バンド（吹奏楽講習会）の開催
日程：12～1月（全11回）
会場：名護市立屋部中学校、名護市民会館
大宮中学校、大北小学校、
名護ジュニアオーケストラ

④あけみおの街フェスティバルコンサートの開催
日程：1/29（日）
会場：21世紀の森 屋内運動場
指揮：直井大輔
演奏：琉球交響楽団室内オーケストラ
名護市内中高生

担当POコメント

クラシック音楽を身近に感じてもらおうと、これまでも様々な活動を展開してきた琉球交響楽団。今回は名護市内の公民館や市場、漁港など、さまざまな人が行き交う場所がコンサート会場となりました。クラシック音楽という格式高さはありながらも、庶民的な空間のなかで、幅広い世代の方々の心に染まっていくような演奏がまちに響きました。また、吹奏楽講習会でプロの奏者の指導を受けた子どもたちと楽団員が共演するなど、音楽によってまちが活気づいたことを感じる事業でした。（具志）

左 / あけみおの街フェスティバルコンサート
右 / あけみおのまちなかコンサート in 津嘉山酒造所

OKINAWA
A R T S
COUNCIL

令和４年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業

支援事業のご紹介
【スタートアップ】

10 / 古典企画
11 / 琉球芸術企画
12 / シマヲツナグ。実行委員会
13 / くらしの中の海洋文化実行委員会

2022»2023

CASE 10

琉球芸能実演家による共同のオンラインを使った魅力発信と稽古の提供

古典企画（南風原町）　https://kotenkikaku.com/

●事業概要

琉球芸能の実演家4名（舞踊・三線・箏・笛）が共同し、従来の対面稽古に加え、オンラインによる稽古も行い、後継者の育成を図った。また琉球芸能の様々な魅力を発信し、愛好者の獲得も試みた。中堅・若手が直面している諸課題や環境の改善も模索し、実演家が未来を生き抜くための、一つのモデルケースとなることをめざす。

●取組概要

①ホームページの作成

②稽古希望者(入門者)を募集

無料体験の実施
日程：10～12月
会場：古典企画教室、国立劇場おきなわ稽古室
　　オンライン

【三線体験】
対面:12/26(月)～1/17(火)(全9回)
オンライン:10/6(木)～12/11(日)(全7回)

【箏体験】
対面:12/1(木)～2/1(水)(全6回)
オンライン:11/8(火)～12/28(火)(全7回)

【笛体験】
対面:12/12(月)～1/18(水)(全5回)
オンライン:12/29(木)～1/13(金)(全5回)

【舞踊体験】
対面:12/26(月)～1/13(金)(全8回)

担当POコメント

佐辺良和(舞踊)、仲村逸夫(歌三線)、池間北斗(箏)、入嵩西諭(笛)は、沖縄県立芸大、国立劇場おきなわ組踊研修一期生として学び、今や世代のトップリーダー的な存在です。そんな彼らが試みた体験レッスンでは、初歩向けの曲に加え、組踊の一コマも体験してもらうなど、これまでの稽古にとらわれないかたちを模索。受講生たちは、日頃は客席から眺める実力者の指導に、目を輝かせながらも集中して稽古に打ち込んでいました。今回を機に、本格的な子弟の育成にあたり、琉球芸能の技術や想いは次代へと引き継がれていくことでしょう。(具志)

左 / 三線体験のようす
右 / 舞踊体験のようす

CASE 11

アートで世界のウチナーンチュとつながるプロジェクト

琉球芸術企画（那覇市）　https://sites.google.com/view/ryukyuart/home

●事業概要

世界のウチナーンチュと沖縄の人々が、文化芸術を通した交流により相互理解を深め、国際的な協力関係を醸成していくことをめざす。沖縄の環境をテーマにした専門家によるリレートークと音楽ステージを行うイベントや、沖縄とブラジルをライブ配信でつないだ音楽イベントを開催した。

●取組概要

①「世界のウチナーンチュと共に考える『命ぬ水』の問題」の開催

環境問題に関する映像の鑑賞、専門家によるリレートーク、沖縄のミュージシャンとブラジル在住ウチナーンチュの歌手ヴィクトール金城氏をゲストに招いた音楽ライブを実施。
日程：11/5(土)
会場：宜野湾市民会館 大ホール

②「Águas de Uchina LIVE 沖縄における『命ぬ水』の問題」の開催

沖縄とブラジルの会場を中継でつなぎ、環境問題に関する映像と音楽ライブをオンラインにて配信。
日程：2/12(日)

担当POコメント

沖縄が抱える水環境への問題提起を軸としながら、音楽を通して互いの文化への理解を深めるイベントの開催によって、ブラジルを中心とした海外のウチナーンチュとの良好な関係性の構築をめざした取り組みでした。ウチナーンチュの人々が持つ沖縄という地に対する深い想いが、ミュージシャンたちの演奏によってさらに掻き立てられ、会場が熱い雰囲気に包まれる様子が印象的でした。今後も様々なアプローチで事業が展開されていくことが楽しみです。（橋口）

左 /「Águas de Uchina LIVE」のブラジルでの参加者の皆さん　右 /「世界のウチナーンチュと共に考える『命ぬ水』の問題」音楽ライブのようす

CASE 12

シマヲツナグ。

シマヲツナグ。実行委員会（宮古島市）　https://www.shimawo-tunagu.com/

●事業概要

全国各地のクリエイターを宮古島に集めた展覧会を開催。宮古島の若い世代とクリエイターが交流できる場をつくることで若い世代の将来の可能性を広げ、多方面で活躍できる人材の育成を図るだけでなく、閑散期である冬の宮古島を盛り上げることもめざす。

●取組概要

①出店者の募集

日程：8/1(月)～9/30(土)

②広報物の作成、情報発信

・ホームページ、SNS、宮古テレビ 等
地元メディアでの告知
・フライヤー、ポスターの作成

③若狭公民館(NPO地域サポートわかさ)の活動の視察

子どもたちとのアート活動の場づくりの参考にするため、アーティストが顧問となって子どもたちとアート活動を行う「アートな部活動」見学とヒアリングの実施。

④「シマヲツナグ。」の開催

日程：2/4(土)、2/5(日)
会場：JAおきなわ宮古大ホール
出店者数：73組
来場者数：延べ6175名

担当POコメント

「『スキ』を仕事にする姿を宮古島の子どもたちに届けることで、将来の可能性や視野が広がるきっかけをつくりたい」という実行委員長・砂川一紗さんの熱い想いに賛同、共感した方々とつくりあげていった本事業。子どもたちにどう届けようか、継続的に関わる場づくりも模索しながら本番を迎えました。当日は親子連れや中高生、ご高齢の方まで、延べ 6000 名以上（！）が来場。子どもと島内外から集ったクリエイター、運営スタッフとがことばを交わし、会場のあちこちでつながりが生まれていました。子どもたちが多様な価値観やモノづくりの過程に触れる場をつくるための試行錯誤は今後も続きます。（橋口）

左 /「シマヲツナグ。」の開催
右 /「シマヲツナグ。」に向けた準備のようす

CASE 13

くらしの中の海洋文化

くらしの中の海洋文化実行委員会（名護市） https://kurashi-kaiyou.jimdosite.com/

●事業概要

日々の暮らしの中に根付く海と人間の関わりを指す海洋文化。沖縄の象徴である伝統船サバニの造船技術、 操船技術を軸に、無形の文化財を継承していくことを目的とし、年齢性別にとらわれず、サバニに関わることができる環境・コミュニティの形成をめざす。

●取組概要

①サバニ体験乗船
「FuFu のんびりサバニ時間」の実施

サバニについての解説、艤装の説明、沖縄の季節風の解説、帆の動きの解説、エークを使ったパドルワーク、プチ航海体験を実施
日程:8/21(日)、9/4(日)、9/18(日)
時間:10:00〜12:00
　　14:00〜16:00
会場:今帰仁村民の浜

②西表島研修の実施

体の使い方講座(古式空手)、サバニ造船実習、サバニ造船講座、帆の制作実習を実施
日程:10/21(金)〜10/24(月)
会場:白浜公民館、白浜港、浮船、シラス浜、中野公民館

③くらしの中の海洋文化 オンラインお話会
「ねほりはほり 私と舟のはなし」の実施

日程:10〜1月(全4回)
第1回:國岡恭子(女性サバニ大工)
第2回:下里季美子、三浦藍子
第3回:橋本めぐ美(船の設計士)
第4回:平賀大蔵(鳥羽市立海の博物館 館長)

担当POコメント

ここで言う「海洋文化」とは、伝統船サバニを通し、暮らしに根付く海と人間の関わりと定め、女性の関わりを増やしていく！として取り組まれました。代表の三浦さんを筆頭に実行委員会のメンバー、参加者と、とにかく楽しそうでした。(実際に担当し立ち合い経験した私も楽しかった。)体験を通しての実践のみならず、舟にまつわる自身の話を、一方通行の知識の伝達にならない情報共有の場として配信、発信されました。今後の本取り組みが地域を巻き込んでの展開となることを期待します。(八巻)

左 / 西表島研修のようす
右 / 西表島研修での子どもたちのようす

OKINAWA
ARTS
COUNCIL

令和４年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業

支援事業のご紹介

【個人事業主】

14 / 内間千尋琉舞研究所　内間千尋
15 / 桃原夏子
16 / チカ・コーポレーション 古谷千佳子
17 / 中野 夢
18 / 屋宜久美子
19 / OFFICE DUFFO　普天間伊織
20 / 儀間梨以奈
21 / 比嘉 誠
22 / 野村恵子写真事務所　野村恵子

2022»2023

CASE 14

琉球舞踊を支える担い手の育成･技能継承に関する取り組み

内間千尋琉舞研究所　内間千尋（浦添市）

●事業概要

琉球舞踊の実演のためには、化粧や着付け等、扮装の技能習得も欠かせない。定期的な勉強会を開催し、その技術力の向上を図り、今後に活用できる資料を作成した。扮装の技能をはじめ、新たな課題を確認する場としての舞台公演を行い、実演家としての更なる成長につなげた。

●取組概要

①琉球舞踊にまつわる勉強会の実施

日程:8～10月(全5回)
会場:浦添市かりゆしセンター 教養娯楽室
【第1回 化粧編】
講師:上間千加子(安座間本流清風一扇会師範)
【第2回 結髪編】
講師:福島千枝(舞踊家)
【第3回 琉球舞踊の歌・三線の魅力編】
講師:大城貴幸(琉球古典音楽安冨祖流絃聲会師範)
【第4回 着付編】
講師:玉城圭子(宮城本流 鳳仍乃会)
【第5回 実践演習】
講師:久手堅一子(安座間本流清風一扇会 二代目家元)

②扮装等の技能に関わる解説資料の作成

③勉強会の成果発表としての舞台の実施

日程:11/20(日)
会場:国立劇場おきなわ小劇場

担当POコメント

琉球芸能の舞台裏の世界を学ぶ勉強会を重ね、日頃は専門の技術者に任せることが多い扮装（化粧・髪結・着付）と音楽（地謡）について触れたことで、舞台に立つ際の心構えにも変化が伺えました。学んだ技術を実践につなげるために行った舞台公演では、実際に自身の扮装を整えることを経験したことで、その達成感や誇らしさが一人ひとりの踊りから感じられました。ここでの経験と勉強会での資料を活用しながら、今後も研鑽を積んでいきます。

（具志）

左 / 勉強会（化粧編）のようす
右 / 勉強会（着付編）のようす

CASE 15

FM72.5 プロジェクト ～沖縄の俳優に新たな活路を！ 沖縄にもっとエンタメを！～

桃原夏子（浦添市）　https://youtube.com/@fm_natsuko

●事業概要

俳優としての新たな活路を開くため立ち上げたオリジナルドラマチャンネル「FM72.5（ナツコ）」から、沖縄の才能豊かなクリエーターと共に制作したドラマを配信し、沖縄をもっと楽しいエンターテイメントの島にしていく。

●取組概要

①ミニドラマの制作

撮影時期：8～12月
制作本数：13本
発表方法：YouTube

②沖縄県内で活動する俳優との関係強化、チームづくりのためのアンケート調査の実施

③認知度向上のためのオンライン勉強会

講師：小泉充裕（株式会社オフィス･イヴ）
日程：12/15（木）、12/28（水）

担当POコメント

自主制作した約10分前後のWEBドラマを発信。その場で生まれるものを大切に、現場の雰囲気から出てくるアイデアを取り入れ作られるドラマの傾向は様々です。配信の際の取り組み認知度向上の勉強会実施や県内の俳優仲間へのアンケートを通してネットワーク強化にも努めました。コロナ禍を機に新たな活路を切り開くために始めたプロジェクト、「劇団の作品を見に来る方以外にも届けられる」と手応えと充実感が伺えました。（八巻）

左 / ミニドラマの撮影風景
右 / キャストメンバーとの撮影後の一枚

CASE 16

海人写真家によるスポーツバイオメカニクスの知見を活用した身体操作の特徴を伝える写真表現の自己研鑽と写真企画展事業

チカ・コーポレーション 古谷千佳子（読谷村）
https://chikakofuruya.com/

●事業概要

沖縄伝統空手の型を撮影題材に、写真技術向上のための自己研鑽を行った。スポーツバイオメカニクスの専門家や格闘技を専門とするカメラマンと協働し、身体操作の特徴やその魅力をより分かりやすく伝えられるような写真展を成果発表として開催した。

●取組概要

①スポーツバイオメカニクスを学ぶ（全6日間）
講師：滋賀県びわこ成蹊スポーツ大学 高橋佳三教授
会場：昭武舘空手道場
剛柔流仲本塾
琉棍会守道館総本部
拳優会本部道場

②新しい知見を写真で表現するための研究会（全４日間）
講師：小嶋晋介（STUDIO COZY）

③「型」の中にある身体操作の特徴を捉えた写真撮影
日程：10～11月
会場：昭武舘空手道場
琉棍会守道館総本部
拳優会本部道場

④身体操作の特徴を伝える写真企画展「カラテとカラダ」の開催
日程：12/20（火）～12/25（日）
会場：沖縄県立博物館·美術館 県民ギャラリー1

担当POコメント

取材として約10年もの空手修行を経て、満を持して臨んだ展覧会「カラテとカラダ」では、5日間で約 1,200 人もの方が来場しました。古谷さんのストイックさに担当 PO として圧倒されるばかりでしたが、最も驚いたことは、写真という行為がその撮影プロセスも含めて多くの人々を巻き込み、主義や流派の違いをも軽々と越える豊かなコミュニケーションを育んでいた点でした。写真の可能性を拡張するようなモデルケースだと感じています。（小川）

左 / 身体操作の特徴を伝える写真企画展「カラテとカラダ」の開催　右 / 身体操作の撮影風景

CASE 17

琉球染織衣装「黒朝衣」の現状及び歴史的背景の基礎調査研究･発信事業

中野 夢（読谷村）　https://ryukyusomeori.com/kurucho/

●事業概要

現在の琉球芸能の舞台衣装「黒朝衣」の変遷調査、及び琉球王朝期に着用された黒朝衣の歴史的背景、色彩・素材研究を行った。

それらの情報の集約を図り、琉球芸能の総合芸術としての表現創造・魅力創出に寄与する。

●取組概要

①黒朝衣衣装のデータ収集

琉球古典音楽の地謡実演家が所持する黒朝衣を借用し、採寸・素材等の調査およびスタジオ撮影を実施

日程：10/3（月）

②黒朝衣に関する情報などの聞き取り調査（入手の経路・理由、仕立てや製造の過程）

日程：10/15(土)

③官服および朝衣に関する先行研究の情報収集と資料の集約整理および研究調査

日程：10 ～ 12 月

調査地域：八重山郡竹富町、石垣市
鹿児島県奄美市、東京都内

④調査対象の黒朝衣の写真およびデータのアーカイブ閲覧化

担当POコメント

染織家の中野夢さんは、色彩文化の研究者でもあり、琉球音楽「笛」の奏者でもあります。「黒朝衣」は組踊の地謡衣装として、舞踊の衣装としても欠かせないものでありながら、どのように定着していったのか、謎は多いと感じる実演家も多いです。染織と舞台芸能の懸け橋的な存在の中野さんによる、様々な視点からの研究がスタートしました。今後に期待される新たな発見に興味が尽きない、染織と芸能界の双方から注目が集まる事業です。（具志）

左 / 黒朝衣の調査風景
右上 / 小浜島視察のようす

CASE 18

沖縄の文化を次代へ継承する ワークショップ実践者の育成に向けた基盤形成

屋宜久美子（那覇市）

●事業概要

ワークショップの講師や実践者を対象に、沖縄の文化や環境資源を活かした手法や扱う素材の特性、歴史背景について学びながら、課題や気づきを共有する場を創出した。活動のようすを報告書にまとめることで、今後のワークショップの担い手育成の基盤形成につなげる。

●取組概要

①ワークショップ実践者を対象とした ワークショップの実施

#01「アダン葉の編み手が伝える―沖縄の植物と生活―」
講師：比嘉美保、崎浜夏樹（ワークリンクサザン）
日程：10/8（土）、10/15（土）

#02「養蜂家が伝える―沖縄の自然・蜜蜂・ものづくり―」
講師：内堀浩子（うちぼり養蜂園）
日程：11/5（土）

#03「自然との共鳴―赤土を使った絵の具づくり―」
講師：喜屋武千恵（画家）
日程：12/4（日）

②実践者のニーズを把握するための座談会およびアンケートの実施

③報告書の発刊と配布

担当POコメント

本事業にはワークショップ講師の方々をはじめ、保育や学校教育に携わる方々、子どもが利用する施設の運営者や教育普及担当者など、子どもに関わる様々な現場に携わる方々が参加し、学びを重ねていきました。ここでの経験を起点に、沖縄の風土ならではの表現を探求する試行錯誤は続き、参加者それぞれの現場に還元されていくのだろうと想像が膨らみます。今回の試みを通して、ゆるやかな連帯と新たな学びのかたちが芽吹いていきますように。（上地）

左 / ワークショップ #01「アダン葉の編み手が伝える―沖縄の植物と生活―」 右 / ワークショップ #02「養蜂家が伝える―沖縄の自然・蜜蜂・ものづくり―」

CASE 19

沖縄ミュージカル俳優育成ワークショップ

OFFICE DUFFO　普天間伊織（中城村）
https://www.instagram.com/officeduffo/

●事業概要

沖縄から県外や海外へミュージカル俳優を輩出することを目標に、歌やダンス、演技の専門家と連携し総合的な技術指導を行うワークショップを継続的に実施。また成果発表の場を設けることによって多くの人々に活動を周知し、次年度以降の事業継続と発展をめざす。

●取組概要

①ワークショップ参加者の募集

②ワークショップの実施

講師：出口裕子（演技）
　　西平士朗（歌）
　　島袋彩音（ダンス）
参加者：12名（7～24歳）
日程：11/20(日)～12/17(土)
　　（演技・歌・ダンスで各４回開催）
会場：ROOM84（那覇市久茂地）
　　メカルガーデン（那覇市銘苅）

③成果発表会の実施

日程：12/18(日)
会場：メカルガーデン

担当POコメント

ともすれば特定の分野に偏りがちなワークショップもあるなか、「ミュージカル」という切り口によって音楽、ダンス、演劇と多様な関心層の交わりを生み出していました。そして、普天間さんのようなプロデューサーの存在も非常に重要で、それが成果発表会でのキラキラとした堂々たるパフォーマンスに結実しました。この取り組みが、さらに別のプロデューサーや若い表現者に波紋のように広がっていくことを信じています。（小川）

左 / 演技ワークショップでの稽古風景
右 / 成果発表会のようす

CASE 20

ミュージカル×バレエ、沖縄文化×バレエで沖縄に新たな表現を！「ダイバーシティー・インクルージョン」互いの違いを生かして更なる表現の幅を広げる事業

儀間梨以奈（那覇市）　https://haluokinawa.com/

●事業概要

舞台芸術活動におけるダイバーシティー・インクルージョン（多様性の包摂）の実現に向けて、障がいをもつ子どもたちを含む人々を対象としたバレエやミュージカルのレッスンを継続的に実施し、表現の場を提供した。同時に、エイサー等の沖縄文化の担い手とともにバレエ作品を創作し、新たな表現方法の開拓をめざす。

●取組概要

①サウンド・オブ・ミュージックのレッスンの実施

講師：西平士朗、佐久田あさか（スタジオぱふぉ）
指導サポート：新城由喜恵
演出：森島美奈子
日程：11/13(日)～ 2/5(日)計９回

②バレエ×沖縄文化の創造レッスンの実施

■振付、踊りのレッスン／オンラインレッスン（全10回）
講師：江上悠（振付）、江上千沙（歌三線）
■振付、演出、合同での踊りのレッスン（全6回）
講師：しんかーSHINKAー（創作エイサー）

③今後の活動に繋げる広告・運営の戦略会議の実施

日程：11/13(日)～2/10(金)（全6回）

④内部リハーサルの実施

日程：2/7(火)
会場：那覇市ぶんかテンブス館

担当POコメント

「ダイバーシティー・インクルージョン」という困難な課題に挑戦した儀間梨以奈さんは、自身のこれまでのバレエ活動のなかで、障がいの有無に関わらず様々な人々と関わり合ってきた経験があったからこそ、このプロジェクトの構想に至りました。「そもそも多様性とはなにか？」を問い直し、ジャンルの異なる素晴らしい講師陣とチームで協働し、悩み、議論を重ねながら劇場での成果発表まで駆け抜けました。（小川）

左 / サウンド・オブ・ミュージックのレッスン風景
右 / 内部リハーサル参加者の皆さん

CASE 21

那覇市首里末吉町の獅子舞ドキュメント映画撮影

比嘉 誠（那覇市）　https://www.youtube.com/watch?v=fFMUwLtLfVM

●事業概要

首里末吉町に伝わる「獅子舞」の演舞(型)と、それにまつわる行事を多角的に撮影した。

継承に携わる現役の保存会メンバーやOB、自治会の想いもドキュメントとして撮影し、末吉町公民館にて関係者を集めての上映会を行った。

●取組概要

①獅子舞演舞の練習風景の撮影

日程:1/7(土)、1/19(木)

会場:末吉町公民館

②獅子舞保存会若手会員へのインタビュー撮影

日程:10/24(月)

③OB会メンバーへのインタビュー撮影

戦後復興第一期メンバーへの個別インタビュー撮影(比嘉政清、大城正雄)

日程:10/24(月)

担当POコメント

世襲により継承されてきた末吉町の獅子舞。舞い手の子として生まれた比嘉誠さんは、父親の理解のもと高校卒業後に上京し、映画撮影やカメラマンの経験を重ねます。帰沖後、末吉町の獅子舞が存続の危機にあることを目の当たりにしたことで、継承につなげる一歩として、自らの手でドキュメンタリー映画撮影を決意。かつての担い手が、自らのカメラの技術で、獅子舞の継承と発展のためにとスタートさせた感動的な取組に、地域の方々も寄り添い、新たな絆が生まれることでしょう。（具志）

左 / 獅子舞演舞練習の撮影風景
右 / 撮影したドキュメント映画の上映会

CASE 22

沖縄で写真表現を志す高校生等（Under 30）のための写真家育成ワークショップの実施

野村恵子写真事務所　野村恵子（読谷村）
https://www.instagram.com/nomurakeiko/

●事業概要

沖縄の高校生の写真における文化活動は近年も活発に行われているが、卒業後も沖縄の歴史や文化を記録し表現し発信し続ける若者は少ない。そうしたUnder 30の若者に対象を絞っての写真ワークショップを開催し、創造性を発見できる機会を創出した。

●取組概要

①スライドシューNIGHT
（講師、ゲスト写真家によるスライド作品の上映会）
参加写真家：野村恵子、石川竜一、川島小鳥、
藤岡亜弥、大湾朝太郎、伊波リンダ
日程：2/10（金）
会場：那覇市ぶんかテンブス館

②ワークショップ
（講師陣のレクチャー及びポートフォリオレビュー）
講師：野村恵子、石川竜一、川島小鳥
藤岡亜弥、大湾朝太郎
日程：2/11（土）
会場：INTERFACE-Shomei Tomatsu Lab
（那覇市久茂地）

③ワークショップ（野外撮影＆リタッチ教室）
講師：野村恵子、石川竜一、川島小鳥
藤岡亜弥、大湾朝太郎、東松泰子
日程：2/12（日）
会場：INTERFACE－Shomei Tomatsu Lab 他

担当POコメント

国内外で活躍する写真家を講師に迎え、高校生から社会人を含む18人が参加し実施されました。本事業のきっかけについて、主催者の野村さんは「若い人たちが世代を超えて写真に触れ合えるプラットフォームをつくりたかった」と話します。参加者はまず講師自身の作品を通してのレクチャーで気構えやスタンスを、その後それぞれのポートフォリオレビューや屋外での撮影ワークショップを通して技術的なことも講師陣から学びました。次年度は講師陣も含んだ展覧会も実施される予定で、参加者が今回の経験を経てどのような作品を発表するのか待ち遠しいです。（八巻）

左 / ワークショップのようす
右 / ワークショップ参加者と講師の皆さん

沖縄文化芸術の創造発信支援事業
令和4(2022)年度の取り組み

■公募による採択件数・補助金額等

	応募総数	採択数	採択率	交付予定額
団 体	23 件	9 件	39.1%	32,110,000 円
スタートアップ	6 件	4 件	66.7%	3,509,000 円
個人事業主	23 件	9 件	39.1%	7,593,000 円

平成29年度～令和3年度までの補助事業で実施した

文化芸術活動数 …… 1,533件
（令和3年度 / 336件）

文化芸術活動の享受者数 …… 308,407件
※ただし、数万人が来場する大規模イベントへの
ブース参加のうち、実数が抽出できないものは割愛
（令和3年度 / 73,059件）

異分野連携活動数 …… 823件
（令和3年度 /95件）

異分野連携事業者数 …… 562件
（令和3年度 /94件）

■その他の取り組み

ぶんかとほじょきんそうだん会

沖縄県内で文化芸術に関わる活動をしている方を対象に、プログラムオフィサーによる相談機会の提供に取り組みました。毎月 20 日の定期開催の他、不定期に宮古島や石垣島でも開催しました。

令和４年度相談件数 …… 148件
（令和5年2月末現在）

フォーラム

アーツカウンシルってなんだろう？ ー沖縄アーツカウンシルの取り組みー

2012年度より開始した沖縄アーツカウンシル事業についてふり返り、今年度公募により採択された6組の事業者の方々による活動紹介と気づきを報告。後半ではアドバイザリーボード４名も加わり、本事業における支援のかたちについてディスカッションを行いました。

日時：2022年11月23日(水･祝)　13:00～17:30
会場：沖縄県立博物館･美術館 博物館講座室

地域に向き合い、地域と育む ―文化資源活用とその持続的な取り組み―

伝統芸能や文化芸術といった文化資源の活用や、文化芸術活動の担い手育成に関する今後の展開に向けた機運醸成のための本フォーラム。他地域での事例を踏まえて、地域における文化資源の活用方法、これから必要となる担い手の姿について、ディスカッションの場を設け意見を交わしました。

日時：2023年2月11日(土･祝)　18:00～20:00
会場：沖縄県立博物館･美術館 博物館講座室
スピーカー：木野哲也(飛生アートコミュニティー ディレクター)

レクチャー

「インボイス制度」ってなんだろう？

2023 年 10 月より導入される「インボイス制度」。法人や任意団体を立ち上げて活動する事業者、個人事業主として活動しているアーティストや実演家にとってどのような影響や変化があるのか、講師に税理士をお迎えして基礎的な講座を行いました。

日時：2023年1月31日(火)
　　19:00 ～ 21:00
会場：沖縄産業支援センター 302号室
講師：添石幸伸
　　（税理士法人添石綜合会計事務所 代表税理士）

沖縄県文化芸術名鑑

沖縄県内を中心に活動するアーティストやクリエイターの紹介、文化団体、文化施設等の情報を掲載していきます。今年度は、美術や琉球芸能、工芸など幅広い分野で活躍する方々へのインタビューを行いました。令和5年度には、魅力あふれる沖縄県の文化芸術に関する人や場所を紹介し、より多くの皆様に知っていただくことを目的にデータベース化したウェブページを公開予定です。

OKINAWA ARTS COUNCIL 2022»2023

令和４年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業 支援事業事例集

発行日　令和５(2023)年３月26日
発行者　沖縄県
編集･執筆　沖縄アーツカウンシル（公益財団法人沖縄県文化振興会）
上地里佳 / 八巻真哉 / 具志幸大 / 小川恵祐 / 橋口知佳子 / 池畑陽介
デザイン　具志堅 梢

沖縄県　公益財団法人 沖縄県文化振興会

公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄アーツカウンシル
〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831-1　沖縄産業支援センター6階 605号室
TEL 098-987-0926　FAX 098-987-0928
https://www.okicul-pr.jp/oac/

Web　Facebook　Instagram

COMMUNITY ARTS WORKSHOP